

持続可能な開発目標（SDGs）推進本部会合（第14回）

議事録

令和5年12月19日

官邸2階小ホール

【林内閣官房長官】

ただ今から、持続可能な開発目標推進本部第14回会合を開催いたします。

それでは、議事に入ります。

まず、議事1「SDGs実施指針改定」及び議事2「第7回ジャパンSDGsアワード受賞団体」について、市川内閣官房副長官補から説明をお願いします。

【市川副長官補】

資料1「SDGs実施指針改定版」について御説明いたします。

2016年の策定後、2回目の改定となる本実施指針は、今後のSDGs推進に関する中長期的な戦略となります。円卓会議における意見交換、民間構成員からの提言やパブリック・コメントの結果も反映させつつ、現在の国際社会の現状も踏まえ新しい時代に合わせた指針となるよう改定いたしました。2030年のSDGs達成に向け、本実施指針を着実に実行に移していきます。

資料2「第7回ジャパンSDGsアワード受賞団体」について御説明いたします。

SDGs推進円卓会議構成員による審査を経て、本部長賞1件、副本部長賞2件、特別賞1件を受賞団体として決定したいと考えています。以上です。

【林内閣官房長官】

ただいまの説明に関連して、御発言される閣僚を、順次指名させていただきます。

【上川外務大臣】

気候変動や環境、国際保健を含む地球規模課題は、我が国を含む国際社会全体で取り組むべき喫緊の課題です。引き続き、「女性・平和・安全」（WPS）アジェンダを含め、これらの課題の解決に向けて指導力を発揮してまいります。

【鈴木財務大臣】

財務省と金融庁は、サステナブルファイナンスや質の高いインフラ投資、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の推進などに取り組んできました。また、SDGs推進を支援するため、融資余力拡大への貢献など、国際開発金融機関の改革を主導してきました。新たな実施指針のもと、こうした取組を一層推進してまいります。

【河野デジタル大臣】

教育・交通・介護・子育てをはじめとする分野においてDXを進めるとともに、手順のオンライン化、共通化等に取り組めます。デジタルの力を活用し、これらの公共サービスの質や利便性を向上させることにより、豊かで持続可能な社会の実現を目指します。

【斉藤国土交通大臣】

国土交通省は、誰もがアクセスできる持続可能な交通や都市におけるネットゼロ・レジリエンスなどをテーマとして G7 関係閣僚会合を開催しました。今後は、こどもや高齢者をはじめ誰もが暮らしやすいまちづくり、都市の GX、産業の持続的成長など具体的な取組を進めてまいります。

【土屋復興大臣】

福島国際研究教育機構、いわゆるエフレイが実施する研究開発は、SDGs の実現など世界共通の課題の解決をも目指すものであり、その取組を支えてまいります。

【松村国務大臣】

気候変動の影響もあり、国内外で災害が頻発、激甚化しています。防災・減災、国土強靱化の取組を一層推進し、後半期に入った「仙台防災枠組」を率先して実行することで、SDGs の達成に貢献します。

【坂本農林水産大臣】

現在、農林水産省では、農政の基本的な方針である食料・農業・農村基本法の見直しを進めています。その際、SDGs の達成に通ずる「平時からの国民一人一人の食料安全保障の確立」、「環境等に配慮した持続可能な農業・食品産業への転換」、「人口減少下でも持続可能で強固な食料供給基盤の確立」を重要な柱として検討を進めてまいります。

【伊藤環境大臣】

気候変動、生物多様性の損失、汚染という 3 つの世界的危機の克服には、統合的アプローチと経済・社会課題の同時解決が必要です。このため、環境省は、地域資源の持続的活用により、地域循環共生圏の実現に取り組みます。

【小泉法務大臣】

法務省では、今般改定される新たな実施指針の趣旨を踏まえ、本年 7 月に開催した司法外交閣僚フォーラムの各成果文書に掲げられた内容を着実に実行すること等により、SDGs の達成に力を尽くしてまいります。

【盛山文部科学大臣】

文部科学省としては引き続き、ESD をはじめ、誰一人取り残さない教育の実現や教育の質の一層の向上を目指す等、SDGs 全ての目標に貢献する教育の推進に加え、SDGs 達成のための科学技術・イノベーション、スポーツや文化の振興を推進します。

【加藤国務大臣】

ジェンダー平等は、全ての目標において、横断的に実現されるべき観点とされており、「男女共同参画基本計画」及び「女性版骨太の方針」に基づき、多様なステークホルダー

と連携して、取組を推進してまいります。

また、こども施策についても、年内を目途に策定するこども大綱に基づき、抜本的強化を図ってまいります。

【自見国務大臣】

地域における地方創生 SDGs を推進する取組への支援を通じた地域活性化のモデルづくりや、エシカル消費・食品ロス削減等、消費者の行動変容を図る取組を進めてまいります。また、2025 年大阪・関西万博においても SDGs や平和と人権といった地球的規模の課題解決に向けた「テーマウィーク」も実施してまいります。

【馬場総務副大臣】

総務省は、SDGs の進捗把握に資するグローバル指標の各府省による整備を推進しており、前回の本部会合以降も、新たな指標の整備が進んだところです。各府省においては、引き続き、指標整備に取り組まれるよう、お願いいたします。

【濱地厚生労働副大臣】

SDGs の達成に向けて、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の推進等を行うとともに、労働者のディーセント・ワークの実現に向けた取組を着実に進めてまいります。

【鬼木防衛副大臣】

防衛省では、平和で安定した国際環境の実現のため、「自由で開かれたインド太平洋」のビジョンの下での能力構築支援等の取組を継続的に行うとともに、気候変動への適切な対応を含め、SDGs の達成に向けた取組を推進してまいります。

【神田内閣府大臣政務官】

新しい資本主義は、官民が連携し、様々な社会的課題を成長のエンジンに転換し、解決することで、「成長と分配の好循環」を実現し、持続可能で包摂的な経済社会を構築していくもので、まさに SDGs の達成に繋がる取組です。

引き続き関係府省庁と連携して進めてまいります。

【平沼内閣府大臣政務官】

「STI for SDGs」として、国連機関と連携し、現地のニーズに即した日本企業の新技術を活用しながら課題解決を支援しています。また、昨年策定したグローバルヘルス戦略や、本年 G7 の成果を踏まえ、保健分野の取組を関係省庁と連携して進めます。

【吉田経済産業大臣政務官】

GX を推進するとともに、アジア・ゼロエミッション共同体等を通じたアジア諸国の取組を主導するなど、世界の脱炭素化の実現に貢献します。また、サプライチェーンを含む人企業活動における人権尊重を促すためのガイドラインの普及を進めます。

【林内閣官房長官】

他に御発言がないようでしたら、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針改定」及び「第7回ジャパン SDGs アワード受賞団体」について、本推進本部の決定としたいと考えますが、よろしいでしょうか。

【林内閣官房長官】

それでは、本件については、本推進本部の決定といたします。
最後に、総理から御発言いただきます。

【岸田内閣総理大臣】

本年は SDGs 達成に向けた中間年ですが、その達成に向けた進捗には大幅な遅れが生じています。

こうした中で、今、改めて、誰一人取り残さないというSDGsの原点に立ち返り、「人間の尊厳」が守られる世界を実現するべく、我が国を含む国際社会全体で、SDGs達成に向けた努力を加速していく必要があります。

こうした考えの下、5月のG7広島サミットでは、SDGs達成に向けたG7の決意を再確認し、また、9月にニューヨークで開催されたSDGサミットにおいても、国際社会のSDGs達成に向けた取組を力強く牽引していくとの決意を、私から述べたところです。

こうした国内外の情勢を踏まえ、本日、SDGs推進の中長期的な国家戦略である、SDGs実施指針を2019年以来、4年ぶりに改定しました。

本指針では、「新しい資本主義」の下、「人への投資」やGX・DXの推進を通じて、持続可能な経済・社会システムを構築するという決意を示しております。

また、「誰一人取り残さない」包摂社会を実現することも重要です。SDGsを推進する上で、人権の尊重とジェンダー平等が全ての目標において横断的に実現されなければなりません。

新しい実施指針の下でも、引き続き、国内外の全てのステークホルダーとの連携・協働を強化していきます。

関係閣僚におかれては、本指針を着実に履行し、国内外での取組を力強く推進していくよう、よろしく願います。私自身、来年以降もしっかりリーダーシップを発揮していきます。

【林内閣官房長官】

以上をもって、持続可能な開発目標推進本部第14回会合を終了します。